分数のかけ算・わり算：図・一つ分・もとの量

講師用メモ・バージョン 3

三つのコアページから必要な所を選び、児童の図・式・単位と対応させます。C1〜C2とC7は積の図、C3〜C4とC8は割り算の意味・逆数・単位、C5〜C6は何を1倍とするかと未知の量を扱います。与えた枠と児童が加えた分割・対応の印を分けます。液体を実際に量らなかった場合は図での練習と記録し、実測をしたとはしません。児童との授業での試用と日本語母語話者の校閲は未実施です。

練習問題の解答はこの講師用メモに分けています。編集版であり、実際の授業での試用はまだ行っていません。

C1・C2：自分の図と関係

C1. 1m四方を横5等分・たて3等分し、横4/5m・たて2/3mの長方形を自分の図に表してください。一ますの面積、使うますの個数、求める面積を式と単位に対応させます。

解答・確認の観点：一ます1/15m²、4列2段の8ます、4/5×2/3=8/15m²。児童の全体1m²と分割・長さ・面積の対応を確認する。

C2. 3/8Lの3/5倍の量を、自分の全体1Lの図と式で表してください。何を5等分して三つ分を選んだか、1L・3/8L・求める量を区別して説明します。

解答・確認の観点：3/8×3/5=9/40L。児童の1Lと3/8Lの対応、3/8Lを5等分した3こ分を示す。面積図を使う場合も全体1Lと明記し、m²へ勝手に置き換えない。

C3・C4：自分の図と関係

C3. 5/6÷3/4を、同じ大きさの単位で比べる図と、逆数を掛ける式で説明してください。商に割る数を掛けて割られる数にもどし、商が正しいことを確かめます。

解答・確認の観点：5/6=10/12、3/4=9/12なので10÷9=10/9。5/6×4/3=10/9。10/9×3/4=5/6。児童の共通単位の図・二つの方法を確認する。

C4. 7/8Lを、1個満杯で1/3L入る容器へ分けます。自分の図で、端数も含めて容器の何個分か、満杯にできる個数、残る量Lをそれぞれ示して説明してください。

解答・確認の観点：7/8÷1/3=21/8個分。満杯2個、残り7/8−2/3=5/24L。児童の1個分と残りの図、端数と整数個数・液量の区別を確認する。

C5・C6：自分の図と関係

C5. 赤5/6mは青の5/4倍です。何を1倍とするか、未知の量がどれかを示す自分の図と式で、青の長さを求めてください。掛け戻す確認も残します。

解答・確認の観点：青×5/4=5/6、青5/6÷5/4=2/3m。2/3×5/4=5/6m。児童の図で青を1倍とし、青が1mとは決めない。

C6. 青と赤の正の長さを自分で決め、同じ関係から三つの問題を作ってください。①青と赤から何倍か、②青と倍から赤の長さ、③赤と倍から青の長さを求めます。一つの図と三つの式で説明します。

解答・確認の観点：例青3/5m、赤4/5mなら倍4/3。4/5÷3/5=4/3、3/5×4/3=4/5、4/5÷4/3=3/5。児童の別の正しい関係でも可。未知の量が三種類になることを確認する。

C7・C8：自分の図と関係

C7.「3/5×5/6は、分子と分母をそれぞれ足して8/11になる」という説明を、自分の単位を示す図と式で直してください。図の一つ分と、選んだ個数を説明します。

解答・確認の観点：積15/30=1/2。例1m四方を横5等分・たて6等分し、横3列たて5段で15ます。一ます1/30m²。児童の別の適切な同じ全体の図・単位も認める。

C8. 0.6÷1 1/5を、分数へそろえる自分の途中式で計算してください。商がもとの0.6より小さいか大きいかを先に予想し、掛け戻す確認とともに説明します。

解答・確認の観点：3/5÷6/5=1/2。正の0.6を1より大きい6/5で割るので小さくなる。1/2×6/5=3/5=0.6。児童の変換・予想・逆の確認を照合する。

利用と出典表示

© 2026 MomentDesk / PRYADKO DANILA. 無料・有料の授業で利用し、自分の授業用に変更できます。共有時はMomentDeskの出典表示を残してください。テンプレートの転売や、自作としての再公開はできません。

文部科学省・小6A(1)分数の乗法・除法（冊子286〜289/PDF p.292〜295）— https://www.mext.go.jp/content/20211102-mxt_kyoiku02-100002607_04.pdf#page=292